

ヘルスエコノミクス

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 1単位

《担当者名》久保 儀忠（薬学部） 高村 茂生（薬学部） 吉田 栄一（非常勤講師）
立花 宏介（特別講師）

【概要】

近年、我が国において高齢化社会や医療の高度化を背景に、国民医療費の増大が指摘されている。薬剤師は、適正な医薬品の使用とともに医療費の適正化に貢献することが求められている。本講義では、国民医療費、社会保障、薬価基準における制度等に関する知識を修得するとともに、調剤報酬の算定方法及び薬物療法の経済評価の手法について学修する。

【学修目標】

国民医療費、社会保障、薬価基準における制度等に関する知識を修得する。
調剤報酬を算定できる能力を身につける。
医療を経済面から分析・評価できる能力を身につける。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

久保儀忠（薬剤師） 高村茂生（薬剤師） 立花宏介（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

薬剤師としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。